

神戸市立自然の家

手ぶらキャンプ楽しめます



4月にリニューアルオープンしたアウトドア複合施設「神戸市立自然の家『そうぞうのすみか』」。三宮から約40分の立地で、従来の同市内学校園の子どもも向け野外活動としてだけでなく、都市近郊型キャンプ場としてカヌーやアーチェリーなど5種のアクティビティ、日帰りバーベキュー、ホステル宿泊が可能になった。

「自然の中での体験を通じて、多様な価値観へのそうぞう(想像、創造)の場」をコンセプトに、週末には子どもの主体性を育む野外体験プログラムも実施。シャワー室やキッズスペース、山の地形を生かした無料フィールドアスレチ

六甲高山植物園

虫の目線で世界を見たら…

虫の目に世界はどう映っているのだろう。花から花へ飛び回る虫たちにとって花は潜り込めるほど大きく、おいしそうな匂いがするのかな。甘い蜜を求めて近づいた葉っぱにパックと挟まいたら…。



白くなるかもしれない。六甲高山植物園は今夏、植物と虫の関わりを学ぶイベント「しょくぶつとむし」を9月23日まで開催している。六甲山の豊かな自然に囲まれた同園には、栽培する植物だけでなく、たくさんの野生の虫が生きている。イベントでは園内を歩いて楽しむクイズラリー、虫を食べる植物「食虫植物」のハエトリソウやサラセニア=写真=などを展示し、両者の関係性を学ぶ。

食虫植物の寄せ植え講座や閉園後の夜の虫の観察会(いずれも予約制)など、夏休みの宿題解決にお薦めのイベントも開催予定。☎ 078・891・1247

六甲山ビジャーセンター

ガイド目指す人向け養成講座



加賀美。8月19日までにタイトル名「六甲山ボランティアガイド養成講座申込」とし、①名前と生年月日②住所③日中連絡が取れる電話番号を添えて申し込む。県神戸県民センター☎ 078・647・9094、メールkobe_kem@pref.hyogo.lg.jp



↑集合写真



↑NPO法人から指導を受けている様子

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第3月曜日に掲載します)

「ほぼ北海道」山上は涼しく、おいしく

早くも猛暑の日々が続いている。筆者は夏場を六甲山上で過ごすことが多い。山上エリアは山麓の市街地と比べると随分、気温が低くて快適なのだ。標高による影響で、緑が多く、樹木による冷却作用のダブル効果で爽やかな環境。気温的には北海道南部とほぼ同じなのに、思い立ったつすぐ行ける。